



ヨコハマ地域に貢献する企業として

エコアクション21 環境経営レポート

(2022年11月1日～2023年1月31日)



2023年3月9日 発行

株式会社カツマタ



1. 組織の概要・対象範囲	P.3
2. 実施体制	P.4
3. 環境経営方針	P.5
4. 環境経営目標	P.6
5. 環境経営目標の取組結果とその評価	P.7
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認と評価の結果 及び違反・訴訟等の有無	P.8
7. 代表者による全体評価と見直しの結果	P.9

事業所名 株式会社 カツマタ
設立 平成4(1992)年7月
代表者氏名 代表取締役 勝亦 雄二
資本金 2,000万円

環境管理責任者・担当者及び連絡先

環境管理責任者 森田 愛
担当者 森田 愛
連絡先 〒221-0863 神奈川県横浜市神奈川区羽沢町1522
TEL 045-381-7798
FAX 045-381-7920
E-mail katsumata.co.ltd@xrj.biglobe.ne.jp

所在地

本社 〒221-0863 神奈川県横浜市神奈川区羽沢町1522
営業所 〒221-0863 神奈川県横浜市神奈川区羽沢町1541-1

事業内容

上水道施設工事(管工事・水道施設工事・漏水修理工事・メーター取替工事)
冷暖房設備工事
産業廃棄物収集運搬業

許可業種 土木工事業、管工事業、

舗装工事業、水道施設工事業

産業廃棄物収集運搬業：

横浜市 許可番号 第05600109838号

許可年月日 平成31年4月1日 許可有効年月日 令和6年3月31日

産業廃棄物の種類 収集・運搬(積替え及び保管を除く)

汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類

事業の規模 2021年度(2021年6月～2022年5月)

売上額 17億円
工事件数 元請工事18件・下請工事6件
従業員数 38名
事務所床面積 145.68㎡(本社 98.81㎡、営業所 46.87㎡)
資材置場面積 1572.00㎡
産業廃棄物運搬車両 ダンプ・・2t13台、 3t4台、 4t1台 キャブオーバー・・2t1台
産業廃棄物収集運搬量実績 875t

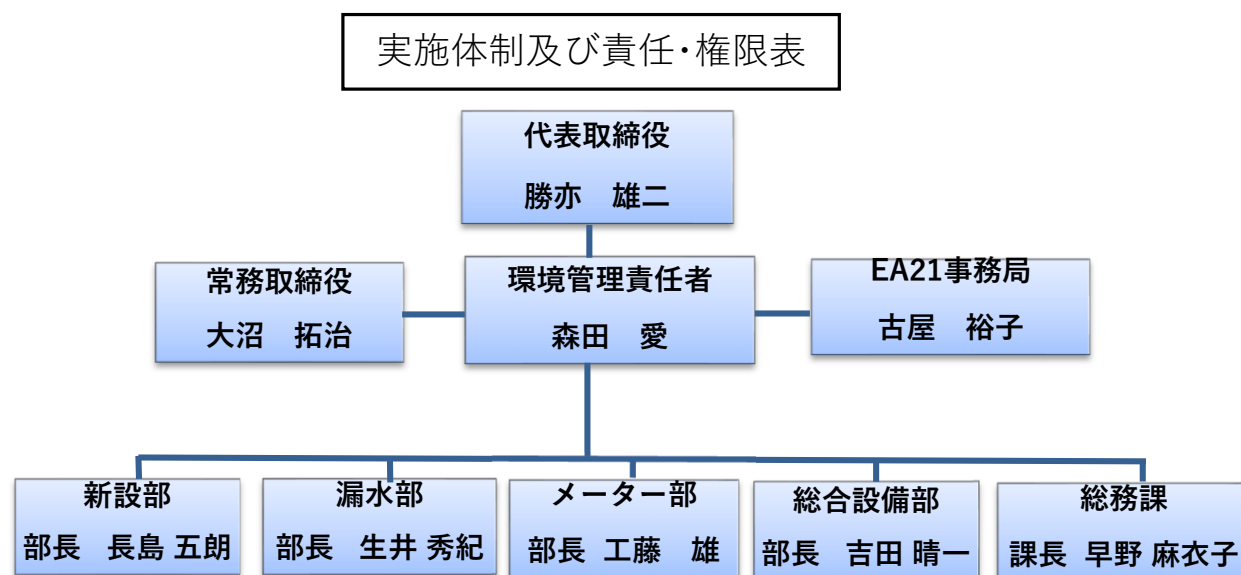
対象範囲

(1) 認証・登録対象組織

本社、営業所

(2) 認証・登録対象活動

上水道施設工事、冷暖房設備工事



	役割・責任・権限
代表者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境管理責任者の任命、実施体制構築 2. 環境経営方針の制定 3. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 社長への環境経営システムの実施状況報告 3. 推進機関であるEA21EMSの事務局の責任者として事務局運営 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6. 環境関連文書及び記録の作成・整理
EA21事務局	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 2. 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 3. 環境目標、環境活動計画書原案の作成 4. 環境活動の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成 5. 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 6. 環境関連の外部コミュニケーションの窓口、環境経営活動レポートの作成
部門責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自部門における環境経営システムの実施、環境方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施 2. 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 3. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 4. 工事現場の作業員への簡単な教育（騒音、振動、廃棄物、省エネ、省資源、緊急時対応）、指示 <p>* 下請等の協力会社作業員含む</p>
従業員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境方針を理解し、部門の環境活動計画に従って活動する。 2. 下請等の協力会社作業員も簡単な教育、指示に従って活動する。

環境経営方針

◎基本理念

当社は、本業である水道工事・冷暖房設備工事を通じて地球環境の保全が、私たちの暮らす地域社会の重要な課題である事を認識し、脱炭素社会に貢献できるよう取組み続けます。

◎行動指針

- 1、 環境関連法令及び条例等を遵守し、
次の活動に取り組む事で脱炭素社会の貢献に努めます。
 - ① 電気、ガソリン等の省エネを推進し、二酸化炭素の排出量を削減します。
 - ② 廃棄物の分別を徹底し、排出量削減を図ります。
 - ③ 資源を有効活用するため産業廃棄物の再資源化に寄与します。
 - ④ 節水を推進し、貴重な水資源を守ります。
 - ⑤ 環境配慮施工の工事を実施します。
 - ⑥ 地域のライフライン整備への貢献を果たします。

- 2、 環境経営の活動は、継続的改善を遂行します。

制定日：2022年10月21日
株式会社カツマタ
代表取締役 勝亦 雄二

環境経営目標

環境経営目標		基準（実績）			年度目標		中期目標	
		2021年度			2022年度		2023年度 (2023年6月 ～ 2024年5月)	2024年度 (2024年6月 ～ 2025年5月)
		通年 (2021年6月～ 2022年5月)	通年 (2021年11月～ 2022年5月)	運用期間相当 2021年11月 ～2022年1月	通年 (2022年11月～ 2023年5月)	運用期間 2022年11月 ～2023年1月		
の素二 削排酸1 減出化 量炭	合計	149,728 kg-CO2	85,690 kg-CO ₂	37,883 kg-CO ₂	1%削減 84,833 kg-CO ₂	1%削減 37,504 kg-CO ₂	2%削減 146,733 kg-CO ₂	3%削減 145,236 kg-CO ₂
削電1 減量用カ の使1	合計	28,446kWh	17,122kWh	8,122kWh	1%削減 16,951 k Wh	1%削減 8,041kWh	2%削減 27,877kWh	3%削減 27.593 k Wh
車 両 の燃1 削料 減使 用 量2	リガ ンソ	4,839L	2,887L	1,198L	1%削減 2,858L	1%削減 1,186L	2%削減 4,742L	3%削減 4,694L
	ガ現 ンゾ場 ソリの	3,631L	2,178L	762L	1%削減 2,156L	1%削減 754L	2%削減 3,558L	3%削減 3,522L
	軽油	42,233L	23,365L	10,237L	1%削減 23,131L	1%削減 10,135L	2%削減 41,388L	3%削減 40,966L
	軽現 油場の	3,272L	2,332L	1,281L	1%削減 2,309L	1%削減 1,268L	2%削減 3,207L	3%削減 3,174L
削一 減物般 の廃2	事務所	排出量	排出量	排出量	実績データ調査		2023年まで調査 2024年で目標値設定	
再資 率3 向上 化	現場	産業廃棄物 再資源化率 100%	産業廃棄物 再資源化率 100%	産業廃棄物 再資源化率 100%	産業廃棄物 再資源化率 100%	産業廃棄物 再資源化率 100%	産業廃棄物 再資源化率 100%	産業廃棄物 再資源化率 100%
水削 4 の削	・事 現務 場所	水使用量 1,726m ³	水使用量 1,064m ³	水使用量 604m ³	1%削減 1,053m ³	1%削減 598m ³	2%削減 1,691m ³	3%削減 1,674m ³
施環 工境5 の配 推慮	現場	環境配慮施 工 件数 24件	環境配慮施 工 件数 23件	環境配慮施 工 件数 14件	1件増加 24件	1件増加 15件	1件増加 25件	1件増加 26件

購入電力のCO₂排出係数：0.443kg-CO₂/kWh

化学物質の使用はありません。

5.環境経営目標の取組結果とその評価

株式会社カツマタ

環境経営計画	取組結果とその評価（2022年11月～2023年1月）			
	環境目標	実績	達成区分	評価及び次年度の取組内容
1. 二酸化炭素排出量の削減	1%削減 (37,504kg-CO ₂)	13.04%増 (42,394kg-CO ₂)	×	・二酸化炭素の排出は増加している ・特に現場の燃料に関しては検証が必要
1.1 電力使用量削減 ・ポスターにて節電の呼びかけ ・エアコン温度設定最適化	1%削減 8,041kWh (3,562kg-CO ₂)	4.85%増 8,431kWh (3,735kg-CO ₂)	×	・取組みは努力したが増加してしまった ・更なる取組みを考える事とする
1.2 車燃料使用量削減				・エコドライブのポスターにてエコ運転の呼びかけをした
ガソリン（乗用車用）	1%削減 1,186L	8.8%削減 1,082L	○	・工事関連の燃料が増加した 繁忙期による増加なのか 原因が明確に特定できないので しばらく検証することとする ・ Yunbo用の軽油が2倍以上増加している。置場用 Yunbo が1台増えたのが原因なのか、年度末の繁忙期の為増えたの
ガソリン（発電機用）	1%削減 754L	26.3%増 952L	×	
軽油（ダンプ用）	1%削減 10,134L	3.4%増 10,483L	×	
軽油（Yunbo用） ・エコドライブの励行	1%削減 1,268L (30,953kg-CO ₂)	109.8%増 2,660L (38,631kg-CO ₂)	×	
2. 廃棄物排出量削減	数量把握の年のため 目標は設定しない	284kg	数量把握の年のため評価できず	・前年度まで把握が されていなかったため、 今回より取り組む事とする
3. 再資源化率の向上 ・分別の徹底	再資源化率 100%	再資源化率 100%	○	・適切な処理施設にて適正にマニフェスト処理されている
4. 水使用量削減 ・節水のおよびかけ	1%削減 598m ³	7.9%削減 551m ³	○	・ポスターや呼びかけの効果が見られた ・次年度も継続して節水をおよびかける
5. 環境配慮施工の 請負件数増	19件	11件	△	・入札期間前なので、実績はまだ不確定

○：目標達成 ×：目標未達 △：評価不能

6.環境関連法規等の遵守状況の確認と評価の結果 及び違反・訴訟等の有無

株式会社カツマタ

適用される主な環境関連法規等は次のとおりである。

適用環境関連法規等	適用される事項（施設、物質、事業活動等）	遵守	最新遵守 確認日
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（AS殻、CO殻、廃プラ等）	○	R5.2.15
	マニフェストの交付と状況報告書の提出	○	R5.2.15
建設リサイクル法	特定建設資材廃棄物の再資源化	○	R5.2.15
騒音・振動規制法	特定建設作業の実施の届出、電動ピック、ハンドプレーカー	○	R5.2.15
自動車NOx・PM法	ディーゼル車(工事用ダンプ・トラック)の粒子状物質減少装置の装着	○	R5.2.15
家電リサイクル法	液晶テレビ、電気洗濯機、電気冷蔵庫、エアコン	○	R5.2.15
自動車リサイクル法	使用済み社用車の引渡義務	○	R5.2.15

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

《2022年度全体評価》

エコアクション21に取り組み、3ヶ月の運用期間を経て目標の達成状況、計画の実施状況及び法規等の遵守状況を見る限り、十分とは言えないものの主要な環境活動は概ね実施できた。従って環境経営方針は変更しないが、活動テーマによっては改善の余地が残されており、今後社員が一丸となってシステムの充実と改善に取り組んでほしい。

《見直しの結果》

- ①電力使用量と現場工事関連の燃料使用量が増加し、結果的に二酸化炭素の排出量も増加し目標を達成できなかった。
増加の原因は新部門の設備部が発足した事が一因としても考えられるが、工事関連の燃料増加に関してはしっかりと原因究明し来年度の目標達成につなげていく。環境目標は変更せず、このまま検証を続けていく。
- ②従来、廃棄物排出量を把握していなかったため、今回より分別の徹底と定量把握に取り組む。その結果をもとに、新たに排出量削減の目標を設定する。
- ③水使用量の削減は目標達成できた。掲げた対応策の実施に留まらず一人ひとりが自覚を持った上で来年度の目標達成を期す。環境目標は変更しない。
- ④環境配慮施工の新規開発にも視野に入れながら、入札に取り組んでいく。目標は継続する。
- ⑤システム構築に際し、該当法規等の調査検討に注力したので適用事項が明確になり、取り組むべき対象が具体的に把握できるようになった。とりわけ緊急事態につながる可能性の高い苦情が想定される騒音対策に万全を期すこととする。そして今後とも新たな法規制情報の収集に努める。
- ⑥環境経営方針、実施体制については変更なく行っていく。

令和5年2月20日